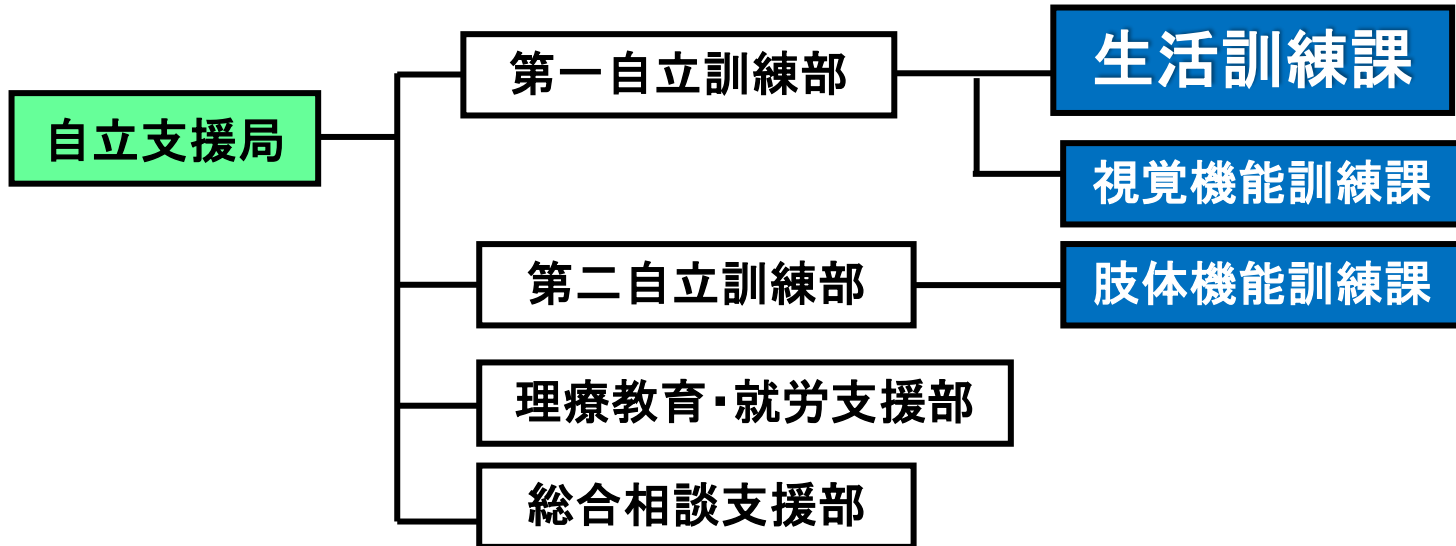


# 高次脳機能障害者に対する 訪問による支援について

国立障害者リハビリテーションセンター  
自立支援局 第一自立訓練部 生活訓練課  
吉川 杏美

# 国立障害者リハビリテーションセンターの概要



病 院

企画・情報部

研 究 所

学 院



# 自立訓練の主な対象者

## 自立訓練

第一自立訓練部

第二自立訓練部

機能訓練  
視覚障害



生活訓練  
高次脳機能障害



機能訓練  
頸髄損傷



# 生活訓練の概要

サービス		対象者	定員	期間	サービス内容
障害福祉サービス	生活訓練	主に高次脳機能障害のある方で、自立した生活を送るために訓練を必要とする方	30名	24か月以内 (原則)	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活リズムの確立</li><li>・生活管理能力の向上</li><li>・社会生活技能の向上</li><li>・代償手段の獲得</li><li>・作業耐性の向上</li></ul>

## 集団訓練

- ・社会生活技能
- ・スケジュール管理
- ・農園芸
- ・調理
- ・リハスポーツ
- ・レクリエーション 等

## 個別訓練

- ・身辺管理
- ・家事動作
- ・移動
- ・コミュニケーション
- ・作業療法
- ・職業準備訓練 等

# 目 標

## ●スケジュールの自己管理

予定表や携帯電話等を活用しながら、日課に沿った行動ができるようにします。

## ●社会生活技能の向上

対人関係や日常生活を振り返り自己認識を高めることで適切な対処方法を身に付け、様々な場面で状況に応じた行動ができるようにします。

## ●生活管理能力の向上

服薬管理、調理、洗濯、掃除、公共交通機関の利用など、生活に必要な活動を身に付けます。

## ●作業能力の向上

様々な作業場面を通じて、得意なことをいかしながら必要な代償手段や環境、作業内容を具体化します。

# 訪問訓練について

障害者総合支援法において、自立訓練(生活訓練)は、「当該障害者の居宅において行う入浴、排泄及び食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談及びその他の必要な支援」(規則第6条の7第2号)を行うものと明記されている。

また、指定障害者支援施設等の人員の配置基準として、利用者の居宅を訪問することにより自立訓練(生活訓練)を行う場合は、当該訪問による自立訓練(生活訓練)を提供する生活支援員を1人以上置くものとされている。

自立訓練(生活訓練)は、地域生活を営む上で、生活能力を高めることを目的としており、生活訓練の中に訪問による支援が位置づけられている。

# 訪問訓練についての紹介

当センターの生活訓練における訪問による訓練の形態は、大きく3つに分けられる。

①利用開始時から慣れた環境である自宅を訪問して、訓練を実施

②通所による訓練を進める中で、訪問訓練のニーズが明らかになり、訪問訓練に移行し訓練を実施

③通所と訪問訓練を並行して実施

それぞれのニーズに合わせた形で柔軟に訪問によるサービス提供を行っている。

# 訪問による訓練を実施した 事例の紹介



## 利用までの経過

Aさん

発症前は専業主婦として家事を行っていたが、発症後は障害の影響から、何を取り組むにも不安や自信のなさを訴え、夫や夫の母に家事全般を任せ、外出の際は必ず家族が付添いをしていた。

本人としては、不安を解消し、調理や買物など主婦としての役割をこなしたい、近隣の喫茶店に単独で外出したいとの希望が強かった。

本人の意向や障害状況をかんがみ、センターに通所して訓練を実施するよりも、自宅での調理や掃除などの家事動作に関する訓練や自宅内の環境設定、自宅近辺の外出訓練が必要と考え、訪問訓練によるサービスを提供することとした。

# アセスメント時のポイント

アセスメントの際には、本人の記憶や印象に残りやすいキーワードや目印、ランドマーク等を支援の手掛かりとして抽出を行った。

# 支援内容

## (1) 決められた場所への外出

- ①一人で徒歩でスーパーに行く
  - ②一人で徒歩で喫茶店に行く
  - ③電車で喫茶店に行く
- 手順書を活用し訓練を実施

指示	様子など
1. マンションを出たら、左に曲がります。	
2. つきあたりを左に曲がり、すぐに右に曲がります。	
3. 左側に駐車場が見えるまで、まっすぐ進みます。	
4. 左に駐車場がみえたら、駐車場の左側をまっすぐ進みます。	
5. 落書きのある電柱がみえたら、左に曲がってください。	
6. 右手に「スーパー」が見えるまでまっすぐ進み、「スーパー」の手前を右に曲がります。	
7. 「スーパー」の横をとおり、大通りに出るまで道なりに、ひたすらまっすぐ進みます。	

## (2) 調理

- ①台所の環境設定
  - 台所に絵や文字のカードやシールを掲示
- ②包丁、コンロを安全に使用する
  - 繰り返し訓練を実施
- ③必要なサポートを明らかにする
  - 訓練でできるようになったことや課題を整理しヘルパーに伝達



★塩・こしょうはケトルのうしろ★

ラップは冷蔵庫の横

品名	シタク	お道具	コンロ
よく使う調味料		さいばし スプーン	
醤油	ボール		
みりん	ざる	スライサー 計量カップ	フライパン
料理油			トースター
サラダ油	砂糖 (三温糖)		
塩	湯	ソースや酢物等の 鍋いり器	
お酢	お酢		
天ぷら油			

# 支援内容

## (3) 自宅の環境設定

### ① 掃除の効率化

→カードを作成

### ② 予定や約束の自己管理

→ホワイトボードの活用

### ③ 外出時の持ち物チェック

→チェックリストの作成、玄関にカードのはり付け

### ④ コンセントの使用

→シールのはり付け

### ⑤ つめがうまく切れない

→電動爪やすりの紹介と使用練習



1	お財布(お金は入っていますか?)
2	携帯電話(首から下げましょう)
3	自宅の鍵
4	お水(納戸の中にあります)
5	タオル、ハンカチ
6	帽子
7	杖

→火やエアコン、電気の消し忘れはありませんか?  
必ず鍵を掛けて出発しましょう。



## 家族や支援者との連携

家族とやり取りができるよう連絡ノートを作成し、訓練の目的や訓練の実施結果、環境調整した内容を共有した。

訪問訓練を通じて、簡単な調理を単独で行うことを目標とし、必要な部分は家事援助を導入することとした。家事援助を利用する際に、訪問訓練の成果がいかせるように、訓練状況や環境設定の内容をヘルパーと共有した。

# 支援結果

## (1) 決められた場所への外出

徒歩圏内のスーパーへの移動は1か月程度で定着。徒歩圏内の喫茶店までの移動は、手順書やランドマークを確認し、安全に移動することが可能となった。電車を利用しての喫茶店までの移動も3か月でおおむね定着した。

訓練以外の場面で、定期通院している病院やスーパーに単独で外出するようになった。

## (2) 調理

道具や材料の検索や片付けに掛かる時間が短縮。簡単な炒め物や煮込み料理を調理することが可能となった。

昼食の準備や簡単なメニューについては単独で行っている。

## (3) 自宅の環境設定

本人のニーズや課題に対する環境調整を行った結果、目標は達成した。また、環境設定の手段や方法を夫が理解し、夫が実行するようになった。

## 支援結果

環境調整と反復で訓練を行うことで、できることが明確になり、自信を取り戻すことができた。

自信が付いたことによって、訪問訓練で実施した内容以外のことも自主的・積極的に取り組むことが増えた。

家族に対する依存も減り、家族の本人への支援や負担も軽減し、夫が単独外出をする機会が増え、夫の母の家事サポートの頻度が減った。

# 訪問訓練の支援のポイント

- ニーズや必要な支援、環境のアセスメントをすること
- 本人の訓練に対する意欲を維持すること
- 定着に向け、繰り返し支援を行うこと
- 家族と訓練の内容や支援のポイントを共有し対応方法を統一すること



# アウトリーチ支援について

自宅への訪問訓練のみならず、利用者のニーズや訓練終了後の進路に合わせて、社会資源の利用や社会参加に向けて、施設外でのアウトリーチ支援も行っている。

## 《主なアウトリーチ支援先》

就労移行支援

就労継続支援B型

職場

学校...など

## アウトリーチ支援のポイント

- 積極的に顔の見える支援者間の関係づくりを行うこと
- 家族・支援者間で課題や支援のポイントを共有すること
- 支援の際に役割を明確化し対応方法を統一すること

# まとめ

## 支援のポイント

- 目標を絞り込み、課題を明らかにすること
- 家族や支援機関と情報共有を行うこと
- 代償手段や環境設定を行い繰り返し支援すること

## サービスのメリット

- 慣れた環境で、実際の場面に即した支援ができる
- 通所の際に得られる情報よりも多くの情報が得られる
- 家族や進路先の関係者と具体的に支援方法の検討ができる